



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2017/9/24発行

第27号

卒業生
成長ストーリー

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします



諦めかけていた夢を取り戻し、後悔のない人生を生きる！

夢を追い続ける
背中を押してくれた

1期卒業生の長澤波香(わか)さんには、イルカのトレーナーになるという夢があります。そんな彼女が、9月2日に登別マリノパークニクスでアシカショーデビューを果たしました。まだイルカではありませんが、自分の夢に近づく大きな一歩を踏み出せたと喜び一杯に報告してくれました。



人生初のショーでは、「お客さんを笑顔にして楽しませることができました。会場が盛り上がり拍手もいただき、想像していた以上にショーをするのは楽しい」と思ったそうです。



日本ベンジャミン人間性英才学校
1期卒業生 長澤波香さん

長澤さんは、日本ベンジャミン人間性英才学校を「みんなが互いの夢を応援し、支え合い、成長をみせてくれる場所」と言い、普通の学校との違いを感じています。

イルカのトレーナーは幼い頃からの夢でしたが、高校生の時、担任の先生から「夢でも見ているのか？」と面談で言われたことがあったそうです。

ベンジャミン学校で自分の夢を話した時は、先生や周りの生徒が「なれるよ！」と背中を押してくれました。そうした応援が今日まで長澤さんを支え、夢を追い続ける原動力になっています。

ベンジャミンプロジェクトの経験も、とても役立ちました。実は、めんどくさいという気持ちからうやむやに終わらせてしまったプロジェクトがあったそうです。後からすぐ後悔し、本当にしたいことを中途半端にすることが、こんなにスッキリとしないことなのだと痛感したそうです。それ以来、全てのこととに全力で取り組み、目標達成を目指そうと心を変えました。



今後の計画は、イルカのトレーナーになる夢に向けて更にレベルアップして、お客さんだけでなく、相手である動物たちの求めていることにまで答えたいけるようにしていきますと、熱く話してくれました。



長澤波香さんからの
メッセージ

「私の夢はイルカのトレーナーというマイナーな夢ですが、先生や仲間が「なれるよ！」と背中を押してくれました。だからこそ今の自分がいて、夢を目指せて感謝しています。今はまだ夢が見つからない人も、ベンジャミン学校は本当にやりたいことを見つけられる学校です。やりたいことを見つけて、叶えて、キラキラ輝いてみませんか？ 夢への第一歩を踏み出した私、キラキラしていますよね！」

ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

- 5 Nothing
- 校舎
- 教科授業
- テスト
- 成績表
- 宿題